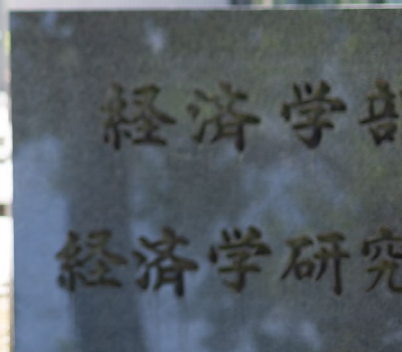




G7をきっかけに農業と環境問題に関心

中学まで理科が好きで、高校はサイエンス科のある高校に入学しました。3年生のときに、宮崎県でG7のサミットが開催されることになりました。農業と環境問題に関心を持ち、G7宮崎農業大臣会合で提言するなどの活動に参加しました。活動の中で、実践的な農業というより、農業のしぐみに課題があると感じるようになりました。

恩師の母校でもある富山大学へ

親族で会社の経営に携わる人がいて、「経営ってカッコいいな」とシンプルに考えていました。高校は理系でしたが、文系の経済学の分野に興味を持ちました。受験のタイミングで経済学部を検討しました。たくさんの選択肢がある中で、お米がおいしいこと、環境未来都市であることを知り、富山に惹かれました。最終的な決め手は、中学の頃からお世話になっている恩師が富山大学出身であることでした。信頼のおける恩師の勧めもあり、富山大学経済学部に進学することに決めました。

高校在学中のつながりで今がある

大学1年の4月から一橋大学認定ベンチャー企業である株式会社Jizokuに入社しました。きっかけは、高校3年生の時にG7に関わって農業や環境問題に関する取り組みを行っていることを、熊本県の農家の方が株式会社Jizokuの代表に伝えてくれたことです。大学入学と同時に株式会社Jizokuの学生メンバーとしての勤務が始まりました。会社の活動は、カーボנקレジットで農家の収入を増やそうという取り組みを行っています。水田の水を抜いた状態ではメタンガスの発生が抑えられることに注目し、その削減量をカーボנקレジットとして販売しています。削減量の計算や書類作成などを代行し、農家の追加収入の増加を目指しています。官公庁や民間企業、農家のみなさんと連携した事業を展開しています。

実践と学びを並行して

大学の学びはグループワークなども多く、株式会社Jizokuの活動と繋がる点も多いです。1年目は株式会社Jizokuのスタッフが代表と私の2人しかおらず、かなりの仕事量を大学の講義と並行して行っていました。現在、富山大学の学生2人を含め、約30人のメンバーが参加してくれています。今年の4月に株式会社Jizoku初支部である富山支部を設立し、代表に就任しました。ますます活動に力を入れ、学業との両立を頑張りたいです。



母校の後輩たちへ

私は高校在学中、悩み事が多い生徒でした。しかし、自分自身が変わらなければと行動を起こし、全力でひとつのことに取り組んだことで多くのチャンスのきっかけになりました。皆さんも何か悩んでいることや不安なことがあると思います。そんな時はまず行動してください！皆さんの活躍を期待しています。

株式会社Jizokuの
詳細はこちら

Jizoku

